

7月1日さんさん山城(土曜日)に

# 木村優来さん 兼平梓紗さん レモネード

## 京田辺 立宇治高校生が販売

障害者就労支援事業所で農福連携センター「さんさん山城」

京田辺市興戸で毎月行う土曜日に、地元高校生が知恵を絞ったレモネードが新たに登場する。

田辺中学校ではソフトテニス部、現在通う立命館宇治高校ではチアリーディング部にも在籍する木村優来(ゆら)さん・兼平梓紗(あずさ)さんの仲良し3年生2人は京田辺産レモンを使ったパ

ンチある飲みものを生み出し、7月1日(土)に販売提供する。

2人は総合的な学習コア探求の中、地域活性化に取り組み、かつて市内で盛んに植え収穫されたというレモンの存在を知る。

ここ数年農業委員会が進めたレモンプロジェクトで収量があるレモンは「さんさん」が継承。兼平さんの母が勤務する事業所が同志社大学D・eggに入居し

ていた縁で、澤井忠彦さんが2人と「さんさん」を取り次いだ。

冷凍レモンを提供してもらい、氷砂糖とレモンの配合や皮あり・なしなど数種類を試作。

スーパーで販売するレモンも比べてみて、同級生らも試飲、意見してもらった。友達は「印象が残る」「苦味がある」など好感を抱いた。2人は「パンチが強い味わいに仕上がっ

た」と自信を見せる。21日に「さんさん」を訪れ、レモンの皮を削り氷砂糖と混ぜ数本のビンに詰めた。

1週間寝かせ、味を馴染ませる。販売初日の目標は100杯で、1杯100円で販売予定だ。

当日は、さんさんコミュニティカフェ内にブースを構え、地域福祉・小児がん治療に役立てる募金もアピール。「毎月続けたい」と



声を強める2人は「京ば」と展望している。田辺の後輩に継げられ、土曜日は午前10時から午後2時。田辺署南隣り。駐車場あり。

木村優来さんと兼平梓紗さんが京田辺産レモネードを